

富士大学研究者情報

経済学部経済学科

教授

小林 保美

こばやし やすよし

研究者基本情報

生 年	昭和34（1959）年
最終学歴	東洋大学大学院経済学研究科経済学専攻博士後期課程修了
取得学位	経済学博士（課程博士）
学位取得年月	昭和62（1987）年3月
出身地	東京都
専門分野	理論経済学、応用経済学、経済学方法論
担当講義	ミクロ経済学、マクロ経済学、現代と経済学、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ、ミクロ経済学特論、マクロ経済学特論、経済政策特論、経済学方法論特論
所属学会	日本経済政策学会、日本財政学会
長期研究テーマ	次代の経済学方法論の構築、マクロ経済学を強固なミクロ的基礎の上に再構築すること。
短期研究テーマ	租税政策（および政府政策）のマクロ経済効果に関するミクロ的アプローチによる理論と実証両面からする解明、1980年代米国における金本位制復帰論争の全容解明、及び、法と経済学の領域における研究。
1年以内に発表予定の研究業績	

研究業績（2017年9月末日現在）

【著書】

1	小島照男・小沢健市・小林保美著『現代経済学』（共）文化書房博文社、1985年7月、15 - 29、67 - 87、88 - 110、124 - 148頁。
2	小沢健市・小林保美編『坂本市郎教授還暦記念論文集』（共）寺門印刷、1985年7月、33 - 51頁。
3	現代経済政策研究会編、寺本博美・前川俊一・植村利男・酒井邦雄・村上亨・小沢健市・小林保美著『現代経済の政策的課題 一五井一雄先生還暦記念論文集一』（共）現代経済政策研究会、1985年10月、141 - 153頁。
4	三浦宏一編、三輪春樹・松原聡・明瀬政治・伊藤祐子・小林保美著『国際化の課題 一日本経済の選択一』（共）第一法規、1988年12月、261 - 344頁。

5	坂本市郎・新田俊三序、小林保美編訳著『サプライ・サイド・エコノミックス ―マクロ経済学の新潮流―』（共）時潮社、1991年6月、3-5、129-172、173-181、182-184頁。
6	『ミクロ経済学の基礎』（単）時潮社、1991年7月。
7	森田行夫・武縄卓雄・小林保美『マクロ経済学』（共）多賀出版、1992年7月、i-iii、47-71、127-142、143-156、217-234、235-263、265-280、325-376頁。
8	『サプライ・サイドの経済学』（単）多賀出版、1992年11月。
9	『ミクロ経済学の基礎（第2版）』（単）時潮社、1993年3月。
10	八巻節夫編著、小林保美・里中亘志・篠原章・小沢健市・江川雅司・吉田明子著『初歩の経済学』（共）八千代出版、1993年3月、11-25、85-100、101-116頁。
11	森田行夫・武縄卓雄・小林保美著『マクロ経済学（増補版）』（共）多賀出版、1995年4月、i-iii、65-89、145-160、161-174、235-252、253-281、283-298、343-375頁。
12	酒井邦雄・寺本博美・吉田良生編著『制度の経済学』（共）中央大学出版部、1995年9月、37-56頁。
13	『サプライ・サイドの経済学（第2版）』（単）多賀出版、1996年5月。
14	『経済学方法論研究序説』（単）時潮社、2000年12月。

【論文】

1	「ラフファー『サプライ・サイド・エコノミックス』概説」『現代科学論叢』第16集、1982年12月刊、15-42頁。
2	「供給重視の経済学 ―その本質と限界―」『現代科学論叢』第17集、1983年12月刊、17-44頁。
3	「税率変更のマクロ経済効果」『東洋大学大学院紀要』第20集、1984年2月刊、183-196頁。
4	「税率変更の市場経済活動と非市場経済活動間の資源配分効果 ―覚書―」『東洋大学大学院紀要』第21集、1985年2月刊、215-224頁。
5	「甲府市の財政分析」『関東地方における地方財政の動向と地域経済関係』関東郵政局、1985年2月刊、39-120頁。
6	「ラフファー・カーブ理論の成立条件について」『現代科学論叢』第19集、1985年12月刊、15-26頁。
7	「サプライ・サイド・ポリシーの作用径路について」『現代科学論叢』第19集、1985年12月刊、27-34頁。
8	「サプライ・サイド・モデルの構造と供給重視の経済学における総供給函数」『東洋大学大学院紀要』第22集、1986年3月刊、85-100頁。
9	「神奈川県経済と財政運営」『地方公共団体の資金計画と余資の効率的運用の動向』関東郵政局、1986年3月刊、1-43頁。
10	「茨城県経済と財政運営」『地方公共団体の資金計画と余資の効率的運用の動向』関東郵政局、1986年3月刊、103-156頁。
11	「供給重視経済学の理論的分析」東洋大学大学院博士学位論文、東洋大学、1986年9月、1-1609頁。

12	「サプライ・サイド・モデルの検討」『現代科学論叢』第20集、1986年12月刊、62-89頁。
13	「サプライ・サイド・フィスカル・ポリシー —新たな政策パラダイムの検討」『現代科学論叢』第20集、1986年12月刊、16-61頁。
14	「税率変更のサプライ・サイド効果の決定要因について」『東洋大学大学院紀要』第23集、1987年3月刊、59-67頁。
15	「経済学方法論上の諸問題」『現代科学論叢』第21集、1987年12月刊、15-27頁。
16	「供給重視の経済学における総供給曲線」『現代科学論叢』第21集、1987年12月刊、19-33頁。
17	「供給重視経済学の理論的分析：要旨」『東洋大学大学院紀要』第24集、1988年3月刊、51-69頁。
18	「ラフファー・カーブの本質と意義」『現代科学論叢』第22集、1988年12月刊、1-24頁。
19	「ラフファー・カーブの批判的検討」『現代科学論叢』第22集、1988年12月刊、25-52頁。
20	「反証主義崩壊の論理」『現代科学論叢』第22集、1988年12月刊、61-69頁。
21	「1970年代の米国における生産性上昇率鈍化の要因」『東洋大学大学院紀要』第25集、1989年2月刊、29-41頁。
22	"Foundations of Supply-Side Economics,"『現代科学論叢』第23集、1989年12月刊、15-36頁。
23	"An Aggregate Supply-Function in Supply-Side Economics," Discussion Paper Series, No.1. The Economic Society of Meikai University, June 1990,pp.1-13.
24	「科学方法論の基礎」『現代科学論叢』第24・25合併集、1991年12月刊、49-62頁。
25	「古典派経済学の方法」『現代科学論叢』第26集、1992年12月刊、44-55頁。
26	「近代経済学の方法」『日本大学短期大学部（習志野校舎）一般教育教室研究紀要』第3号、1993年3月、7-38頁。
27	「マルクス経済学の認識方法」『日本大学短期大学部（習志野校舎）一般教育教室研究紀要』第3号、1993年3月、53-77頁。
28	「マクロ経済学諸学派、特にサプライ・サイド・エコノミックスにおける総供給関数について」『富士大学紀要』第26巻第1号、1993年10月刊、29-52頁。
29	「租税と資本供給」『富士大学紀要』第26巻第2号、1994年3月刊、1-26頁。
30	「租税と労働供給」『富士大学紀要』第27巻第1号、1994年12月、39-45頁。
31	「マルクス経済学における法則の性質について」『現代科学論叢』第27・28合併集、1994年12月刊、28-43頁。
32	「マルクス経済学における理論と現実、及び認識と実践」『現代科学論叢』第27・28合併集、1994年12月刊、44-59頁。
33	「現代経済学の方法論的課題」『富士大学紀要』第27巻第2号、1995年5月、91-108頁。
34	「租税と法人投資」『富士大学紀要』第28巻第1号、1996年1月、31-37頁。

35	"Aggregate Supply Function in Supply-Side Economics: New Dimensional and Mathematical Solution", 『富士大学紀要』第28巻第2号、1996年3月、119-129頁。
36	"The Laffer Curve: A Survey and Reinterpretation", 『敬愛大学研究論集』第52号1996年6月刊、221-247頁。
37	「新しい経済学方法論の視点 ―クーンの所説を中心として―」 『敬愛大学研究論集』第51号1996年12月刊、77-99頁。
38	「近代経済学の認識論的基礎」 『敬愛大学研究論集』第53号1997年12月刊、51-62頁。
39	「供給重視経済学登場と成立の過程（1）」 『富士大学紀要』第34巻第1号、2001年8月、11-28頁。
40	「供給重視経済学登場と成立の過程（2）」 『富士大学紀要』第34巻第2号、2002年3月、21-40頁。
41	「新しい経済学方法論の視点―再考―」 『富士大学紀要』第35巻第2号、2003年3月、23-36頁。
42	「次代の経済学方法論が具備すべき認識の論理構造とその論理的性質について」 『富士大学紀要』第36巻第1号、2003年8月、1-18頁。
43	「次代の経済学方法論の枠組み」 『富士大学紀要』第39巻第1号、2006年8月、11-37頁。
44	「ワルラス法則とセイ法則」 『富士大学紀要』第49巻第1号、2016年8月、1-12頁。

【その他の執筆】

1	「ジョージ・ギルダー著、齊藤精一郎訳『富と貧困 ―供給重視の経済学―』、日本放送出版協会『書評誌 ARECENCIES』、No.4、1982年11月刊、5頁。
2	「ジョージ・シュルツ、ケネス・ダム著、安藤博訳『市場への信頼』、サイマル出版会『書評誌 ARECENCIES』、No.6、1983年4月刊、4-5頁。
3	「ダニエル・ベル著、蛸山晶一訳『社会科学の現在』、TBSブリタニカ『書評誌 ARECENCIES』、No.10、1984年7月刊、4-5頁。
4	磯村英一研修代表、岡野加穂留・加藤富子・戸沼幸市・新田俊三・藤竹暁編集委員『現代実用外来語辞典』（共）ぎょうせい、1985年8月、金融関連用語約200項目担当。
5	ジョン・フェンダー著、坂本市郎監訳、小沢健市・小林保美訳『ケインズ研究 ―『一般理論の分析』―』（共訳）慶応通信、1986年4月、第3章、第4章、第7章担当。
6	「高齢化社会における諸問題」 『活力ある高齢化社会をめざして（鎌倉市の現状と課題）―高齢化社会対策調査研究報告書―』 鎌倉市、1988年7月刊、7-13頁。
7	「高齢化社会関連の施策」 『活力ある高齢化社会をめざして（鎌倉市の現状と課題）―高齢化社会対策調査研究報告書―』 鎌倉市、1988年7月刊、77-94頁。
8	K.A. クリスタル著、小林保美・兼村高文訳『マクロ経済学の論点』（共訳）時潮社、1989年12月、序、序章～第4章、第3編、第10章担当。
9	ジョン A. ソーヤー著、坂本市郎監訳、小林保美・小沢健市・今井英彦・佐々木康史訳『マクロ経済学 ―ケインジアン・モデルとネオ・ワルラシアン・モデル―』（共訳）文化書房博文社、1992年3月、第1章、第2章担当。

10	「不動産鑑定士受験のための『学習のてびき』—経済学—」 『不動産法律セミナー』、Vol.24、No.1（1993年1月号）、50-52頁。
11	「マクロ経済学の過去・現在・未来」、「日本経営協会スタディ・ガイド」、No.94-498（1994年6月1日）、2頁。
12	「不動産鑑定士2次受験講座：不動産鑑定士2次試験論文対策：重要論点&答案作成術—経済学—（1）」、『不動産法律セミナー』、Vol.26、No.1（1995年1月号）、69-78頁。
13	「不動産鑑定士2次受験講座：不動産鑑定士2次試験論文対策：重要論点&答案作成術—経済学—（2）」、『不動産法律セミナー』、Vol.26、No.2（1995年2月号）、169-178頁。
14	「不動産鑑定士2次受験講座：不動産鑑定士2次試験論文対策：重要論点&答案作成術—経済学—（3）」、『不動産法律セミナー』、Vol.26、No.3（1995年3月号）、161-172頁。
15	「不動産鑑定士2次受験講座：不動産鑑定士2次試験論文対策：重要論点&答案作成術—経済学—（4）」、『不動産法律セミナー』、Vol.26、No.4（1995年4月号）、157-167頁。
16	「不動産鑑定士2次受験講座：不動産鑑定士2次試験論文対策：重要論点&答案作成術—経済学—（5）」、『不動産法律セミナー』、Vol.26、No.5（1995年5月号）、163-172頁。
17	「平成7年度不動産鑑定士2次試験予想問題と解説（経済学）」、『不動産法律セミナー』、Vol.26、No.6（1995年6月号）、123,127-135頁。
18	「崩壊した銀行不倒神話」、『日本経営協会スタディ・ガイド』、514号（1995年12月号）、3頁。
19	「不動産鑑定士2次受験講座 一出題委員から学ぶ経済学—重要ポイントNo.1」、『不動産法律セミナー』、Vol.27、No.2（1996年2月号）、157-165頁。
20	「不動産鑑定士2次受験講座 一出題委員から学ぶ経済学—重要ポイントNo.2」、『不動産法律セミナー』、Vol.27、No.3（1996年3月号）、147-156頁。
21	「不動産鑑定士2次受験講座 一出題委員から学ぶ経済学—重要ポイントNo.3」、『不動産法律セミナー』、Vol.27、No.4（1996年4月号）、175-183頁。
22	「不動産鑑定士2次受験講座 一出題委員から学ぶ経済学—重要ポイントNo.4」、『不動産法律セミナー』、Vol.27、No.5（1996年5月号）、175-184頁。
23	「不動産鑑定士2次受験講座 一'96年度直前予想問題と解説のポイント」、『不動産法律セミナー』、Vol.27、No.6（1996年6月号）、171-179頁。
24	「不動産鑑定士2次 経済学・論述フォーム 一重要論点ピックアップ—No.1」、『不動産法律セミナー』、Vol.28、No.5（1997年5月号）、169-182頁。
25	「不動産鑑定士2次 経済学・論述フォーム 一重要論点ピックアップ—No.2」、『不動産法律セミナー』、Vol.28、No.6（1997年6月号）、113-127頁。
26	「不動産鑑定士2次 経済学・論述フォーム 一重要論点ピックアップ—No.3」、『不動産法律セミナー』、Vol.28、No.7（1997年7月号）、113-125頁。

27	ジェフリー L. ハリソン著、小林保美・松岡勝実訳『法と経済学』（共訳）多賀出版、2001年9月、日本語版への序文、序、第1章～第3章、第7章、第9章担当。
28	アーサー・B・ラッファーおよびジェイムス・C・チュニイー著「国際通貨政策——その米ドルと金に対する含意——」、『富士大学紀要』、第50巻、第1号、47-70頁。

【学会発表】

1	「サプライ・サイド・モデルの構造と供給重視の経済学における総供給関数」日本経済政策学会関東部会報告（於東洋大学）、1987年1月31日。
2	「マクロ経済学諸学派、特にサプライ・サイド・エコノミックスにおける総供給関数について」東北経済学会第47回大会報告（於富士大学）、1993年9月18日。
3	「現代経済学の方法論的課題」東北経済学会第48回大会報告（於東北学院大学）、1994年9月17日。

【内外における公開講座等の講師】

	省略
--	----

【社会的活動】

1	花巻市行政改革懇談会委員 平成7年10月～12月。
2	花巻市商工会議所地域開発委員 平成12年11月～。
3	中小小売商業高度化事業（TMO）構想策定委員会顧問（花巻商工会議所） 平成13年7月～14年10月。